

M O N T H L Y vol.111 U P



ルーツは、フランス語でした。

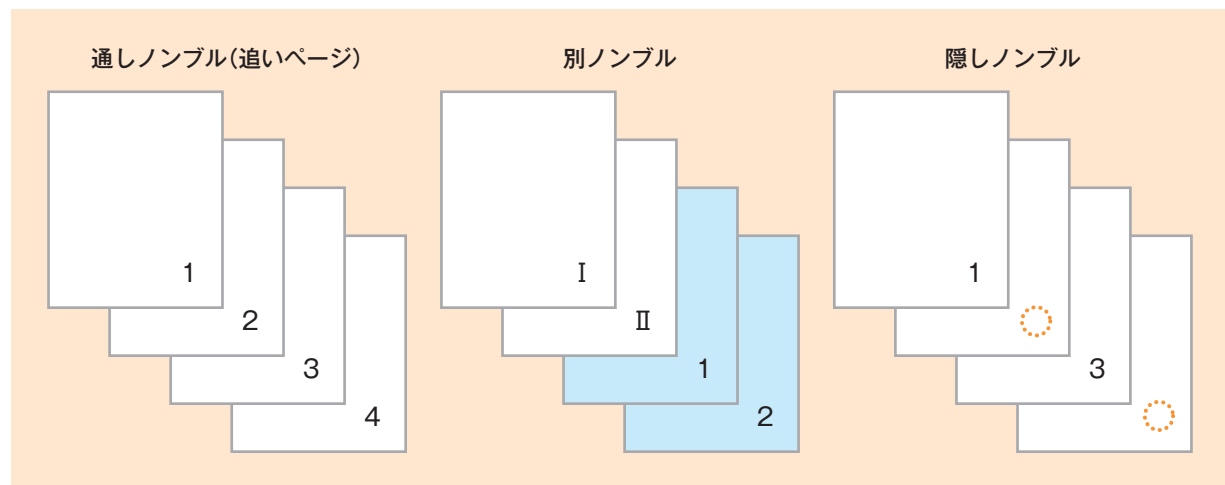
誌面の下や横、上にいることも！？ 存在感は薄いけど、ないと困る「ノンブル」



読者がページ数を調べるため、また印刷工程においてページの順番を間違えないために必要なもの、それがノンブルです。今回は、普段意識することは少ないけれど、重要な役割を担うノンブルについてご紹介します。

書籍やカタログなどが手近にあれば、誌面を確認してみてください。下部や本を開く側の余白部分に、ページ数が記載されていると思います。これを印刷出版関係の業界用語で、ノンブルと言います。言葉のルーツは、フランス語で数をあらわすnombre（英語のnumberに相当）に由来。ページの順番を間違いなく並べるためにも、ノンブルは重要な役割を担っています。

一般的には最初のページから順番にページ番号が振られる「通しノンブル（追いページ）」が採用されています。しかし、ボリュームが多い本では、目次や索引を本文とは違うノンブル表記にする、章ごとに別の番号を振るなど、「別ノンブル」形式が用いられることも。特に書籍類では目次や索引、章扉を別ノンブルにして、本文のはじまりを1ページ目とする場合が多いようです。また通常は、表紙や裏表紙は表1～表4とし、ページ数に含まないのですが、表紙を1ページ目と数えるケースもあります。その他、中扉や奥付、広告など、ノンブルが印刷されていないページも少なくありません。このようにページ数に数えつつ、ノンブルを付けないことを「隠しノンブル」と呼びます。



ノンブルは、あくまでも脇役。あまり主張しすぎず、はっきりと認識できる書体やサイズで表記する必要があります。アラビア数字はもちろん、ギリシャ数字や漢数字などの利用も可能です。また数字だけではなく、「-3-」、「[3]」のように飾りを付けたものもあり、これをひげ付きノンブルと言います。

雑誌やカタログ、マニュアル等を読む時、どこに配置されているのか、どんな書体が使われているのかなど、ノンブルに注目してみるのもおもしろいかもしれません。



No.I290-ISO/IEC 27001
No.E2204-ISO14001 (本社・下丸子工場)
No.4412-ISO9001 (本社・下丸子工場)



SEZAX

セザックス株式会社

<http://www.sezax.co.jp>

□本社・工場	〒146-0091 大田区鵜の木2-9-7	TEL 03 (3758) 2511 (代)
□渋谷コア	〒150-0002 渋谷区渋谷3-19-1渋谷オミビル6F	TEL 03 (3400) 9211 (代)
	5F	TEL 03 (3400) 9401 (代)
□下丸子工場	〒146-0092 大田区下丸子2-20-4	TEL 03 (3758) 2516 (代)

株式会社セザックスクリエイティヴ

〒150-0002 渋谷区渋谷3-19-1渋谷オミビル2F TEL 03 (3409) 4970 (代)

株式会社セザックスドキュメントソリューションズ

〒146-0091 大田区鵜の木2-9-7 TEL 03 (3758) 2533 (代)



VOC(揮発性有機化合物)成分ゼロの地球にやさしいインキを使用しました。

この小冊子は森林認証紙を使用しています。